



平成 28 年度 オリンピック・パラリンピック教育事業
推進校実施報告書

- 1 学校名 : 熊本市立白山小学校
- 2 実施日時 : 2016 (平成 28) 年 9 月 8 日 (木)
- 3 対象 : 3~6 年生 380 名 (※3~4 年生は講演のみ)
- 4 派遣オリンピック : 伊藤華英さん (競泳 北京オリンピック 100m背泳ぎ 8 位入賞 ロンドンオリンピック 4×100mリレー7 位入賞&4×200m8 位入賞)
- 5 授業内容 : 講演・実技指導

2016 (平成 28) 年 9 月 8 日に熊本市立白山小学校において、水泳選手として 2008 (平成 20) 年の北京オリンピックの 100m背泳ぎで 8 位に入賞、2012 (平成 24) 年のロンドンオリンピックの 4×100mリレーで 7 位、4×200mで 8 位に入賞されました伊藤華英さんによる講演ならびに実技指導が行われました。白山小では健康教育が継続的に取り組まれており、今回のオリンピック・パラリンピック教育を運動させることによって子供たちの健康づくりをさらに推進していくことをねらいとしていました。子供たちは事前 (夏休み) に「オリパラ新聞」の作成に取り組み、オリンピックやパラリンピックについて関心を高めていました。

講演ではまず、伊藤さんの子供の頃について話をされました。ベビースイミングで始め、歩き始めるよりも泳ぎ始めるのが先だったそうです。高校進学後、インターハイや国体で活躍するなど順調な水泳人生でしたが、2004 (平成 16) 年のオリンピック代表選考レースでは 3 位に終わってしまい、アテネオリンピックの出場を逃してしまいました。そのときに味わった挫折から、自分が本当にやりたいことは水泳であるという自覚や、周りで支えてくれている人々への感謝の気持ち、そして必ずオリンピック選手になるという目標を持ったそうです。そして、子供たちに対して、「もし壁が目の前にあっても必ずやれるという気持ち」が大切で、その信念が自分の夢の実現につながっていくというメッセージを子供たちに送られていました。後日子供たちによって書かれた感想文の中にも、何事にも自信を持って取り組むことや夢を持ち続けることが大切であるということ学んだという記述がみられました。

講演後は場所をプールに変えて、5・6 年生を対象に水泳の実技指導が行われました。まずは伊藤さんが模範泳法で背泳ぎやクロールなどを披露しました。元オリンピック選手の速くて美しい泳ぎに、子供たちは大きな歓声を上げていました。その後、子供たちはクロールや平泳ぎの練習を行い、クロールのときの手の使い方や平泳ぎのキックの仕方などについて伊藤さんから直接指導を受けました。最後は、伊藤さんと (代表で選ばれた) 子供たちとの間で (100m) リレー対決が行われました。結果は伊藤さんが大差をつけてゴールする形になりましたが、会場は大歓声に包まれました。

6 授業の様子



事前学習で子供たちが作成したオリパラ新聞



オリンピックでの経験を語る伊藤さん



速くて美しい模範の泳ぎ



伊藤さんから直接泳ぎの指導を受ける



伊藤さんにリレーで勝負を挑む子供たち



児童から御礼のあいさつ